

大宮小学校の外国語活動・外国語の研究における実践事例から

1 はじめに

大紀町立大宮小学校は、令和元年度、2年度に大紀町教育委員会の指定を受け、『もっと知りたい・伝えたい』を研究主題として掲げ、「自分の考えや気持ちを表現し伝え合うことのできる児童の育成」を副主題として研修を進めた。

平成30年度から新学習指導要領の移行措置が始まり、令和元年度は、中学年で15時間の外国語活動を、高学年では35時間に15時間を加え、50時間の外国語を実施。完全実施においては、中学年で35時間の外国語活動を、高学年では70時間の外国語科を実施している。

そんな中、ALTに任せる英語の授業ではなく、担任の教員が主体的になってどのように授業を進めていけば良いのか？ということが一番大きな課題であった。

その課題を克服すべく研究を積み上げた結果、授業中、クラスルームイングリッシュをできる限り使うといった教職員の英語に対する姿勢、7つのプレートを使った1時間の英語授業の流れ、年間指導計画の作成や校内の英語カードなど、様々な環境や条件が整いつつある。また、単元末の言語活動の最終ゴールにつながる単元構成のあり方やSmall Talk,Activity等の活動や英語のあふれる環境づくりも成果として見られるようになってきた。このように、大宮小スタイルの授業の流れと指導のポイントが整理・構築され、どの担任でも一定の質を確保しながら、ALTに依存する授業ではなく担任が主になって授業を進められるようになってきている。現在も、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通し、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための授業改善を核とし研究を積み重ねている。

2 研究主題について

(1) 今日の課題

新学習指導要領の「外国語活動」の目標の文末をみると、「～ようにする」と記述されており、「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ」ことが培う資質・能力の一つとされている。一方、「外国語」の目標の文末は、「～できるようにする」と記述されており、英語に慣れ親しむだけではなく、「英語を使って〇〇できるようになること」、つまり「語彙や表現の定着」が求められている。こうした状況を踏まえ、コミュニケーション能力を高める授業改善の取り組みを活性化していくことが重要であると考えている。

(2) 児童の実態から

本校の児童は、与えられた課題や仕事にも真面目に取り組むことができるが、コミュニケーションが上手くとれずに自分の気持ちが伝えられないなど、主体的に行動できず、相手やその場に合った行動ができない実態がある。その実態から、研究主題を「もっと知りたい・伝えたい」～自分の考えや気持ちを表現し伝え合うことのできる児童の育成～として、人権教育と外国語活動・外国語の2点に絞って取り組んできた。

その結果、人権教育においては、「自分の思いや考えを伝えられる児童が増えた」「子ども自身の思いを伝えることで、互いを知り合うことができていた」という成果が得られた。しかし、外国語活動・外国語では、児童の実態調査において、外国語を話せるようになりたいと思っている児童は9割を超えているものの、英語を話すことが好きだという児童は6割程度という実態が明らかになった。話したい気持ちはあるが、恥ずかしさや自信のなさから、英語で進んで話しかけることができない児童が多く、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が十分に養われていないことが考えられた。

そこで、令和2年度、研究主題は変えず、外国語活動・外国語に絞って研修を進めた。特に「話すこと」において、既習事項を繰り返し活用する場面を設けるなど、対話を続けるための表現・手立てを指導し、子どもたちの「知りたい」「伝えたい」という思いを育む授業づくりを目指した。

3 目指す児童像および研究仮説

(1) 目指す児童像

自分の考えや気持ちを表現し伝え合うことのできる児童

(2) 研究仮説

既習事項や慣用表現を繰り返し聞いたり話したりする場面を設定し、対話を続けるための工夫をすることによって、児童は自信をもってやりとりができ、自分の思いや考えを伝え合うだろう。

4 研究の内容

(1) 基礎研究

- ・各種答申等の分析（小学校外国語活動・外国語研修ガイドブックなど）
- ・外国語活動・外国語の研究発表会に進んで参加し、先進校の指導方法を学ぶ。
- ・外国語活動・外国語における授業づくりや児童の意識把握等のため、児童と教員の実態調査及びその分析を行う。

(2) 具体的な手立ての構想

ア 授業の構成

- ・①Greeting、②Warming Up、③Today's Goal、④Activity、⑤Reflection、⑥Closing の学習課程プレートを作成する。
- ・①～⑥の6つの学習課程を基本としつつ、指導計画によって工夫を加える。
- ・Activity の中に Sharing Time(中間交流)を入れて、困ったことなどを解決させたり、良かったところなどを共有させたりする。
- ・目的意識をもたせ、単元ゴールを明確化させる。



↑学習過程プレート

★指導のポイント★

Today's Goal において、児童に本時のめあてをつかませる。
Reflection において、児童に何を学んだのかを自己の学習を振り返らせる。

イ 対話を引き出すための指導を工夫

- ・授業の中に積極的に Small Talk を入れる。
- ・自分自身の本当の考えや気持ちを伝え合わせる。
- ・児童の興味関心のある身近な話題を選んだり、実際の場面を設定したりする。
- ・児童がこれまでに学習した基本的な表現を繰り返し聞いたり話したりする中で、既習表現を活用できるようにする。
- ・活動の後は、“High Five” をしたり “Good job!” や “Nice!” などとお互いを褒め合ったりする。
- ・会話を続けられるような表現を段階的に加える。
Ex. Oh, …! (Repeat) など相手の回答を繰り返したり、I see. Nice. Me too. (Reaction) などのあいづちを打ったりする。

「コミュニケーション要素」から

「言語要素」へ

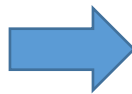
低年年

↓

中学年

Listen carefully
Clear Voice
Eye Contact
Smile
Gesture

大切にしながら



※

★Repeat

★Reaction

★Echoing

高学年

↓

中学校

※★Repeat

A: I like apples.

B: Oh, apples.

★Reaction

I see. Nice. Me,too. Not me.

Good. Really? Pardon?

★Echoing

A: I like apples.

B: I see. You like apples.

★Question & Answer

A: What fruits do you like?

B: I like apples.

A: Oh, you like apples. Why?

B: Because it's sweet and delicious.



「Good Points」「5Rules」として、児童に意識付け

★指導のポイント★

子どもたちが表現したくなる場面を作り出すこと
教師も自分のこと（考えや気持ち）を表現すること

子どもたちが

「コミュニケーション活動が楽しい」と感じ、

「英語で気持ちを伝えられた」という達成感を味わえるように。

ウ 「書くこと」の活動を工夫

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を書き写す。
- ・自分の気持ちや考えに合った語彙を選んで書く。

学年	大宮小学校 CAN-DO リスト 〈書くこと〉 【資料3】
6	●音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書くことができる。
5	●大文字・小文字を活字体で書くことができる。 ●音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
4	●アルファベットを見ながら自分で書くことができる。 ●日常使われている簡単な日本語をローマ字で書くことができる。
3	●アルファベットをなぞり書きすることができる。 ●日常使われている簡単な日本語をローマ字で書くことができる。
2	●アルファベットに触れる。
1	

5 学習評価について

- 年間指導計画、到達目標と評価規準【資料2】、CAN-DO リスト【資料3】の作成と活用をすることにより、「各学年のつながりの中で児童にどんな力をつける必要があるのか？」ということが明確になり、指導と評価に活かされた。
- 毎時の流れをパターン化し、**Today's Goal**めあてと**Reflection**振り返りを明確にすることにより、毎時の指導と評価が焦点化された。
- 毎時の振り返りシート【資料5】を活用することにより、児童の実態をつかむことや指導と評価に結び付けることができた。
- 年に2回ほど、英語に関わる意識調査（アンケート）を行い、授業のあり方にフィードバックしている。
- 単元のゴールとして、その単元で学習した英語を使ってみんなの前では発表するパフォーマンスを行っているが、まだまだ緊張して普段の力が発揮できない児童もいるので、普段の授業での評価やチェックが大切である。
- 学期に1回、ALTと1対1のパフォーマンステスト【資料6】を実施。緊張しながらも一生懸命に会話をしようとする姿が見られ、英語に対する意欲と自信の向上につながった。

6 成果と課題

- 1時間の英語の授業の流れをきめる7つの学習過程プレート①**Greeting**、②**Warming Up**、③**Today's Goal**、④**Activity**、⑤**Reflection**、⑥**Closing**が定着した。
- 授業の流れを確立することによって、どの担任が授業をしても一定の質を保った授業を行うことができるようになった。また、教師の英語の授業への自信につながりALTに頼る授業から担任が主となる授業に変わりつつある。
- 児童は、授業の流れや授業のゴールが分かり見通しを持って授業にのぞむことができる。
- 「Good Points」(Listen carefully, Clear Voice, Eye Contact, Smile, Gesture)や「5Rules」(Listen carefully, Repeat, Reaction, Echoing, Question & Answer)を児童に提示し意識づけさせることにより、コミュニケーションに対する意欲や表現力が高まった。
- 外国語の授業で教師が使うClassroom English（挨拶、褒める、励ます、指示、注意、問いかけ、ゲーム）【資料4】を明示したり、授業中積極的にSmall Talkを入れることを意識したりすることで、教師も児童も、積極的に英語を使おうという習慣がついた。
- 児童が表現したいと思えるような工夫した教材を授業に取り入れることにより、ワクワクドキドキしながら積極的に会話しようとする姿が見られた。
- ◆一人1台のタブレットの有効活用が今後期待される。令和2年度の1月から少しずつ使い始めているが、「自分の好きな都市のパンフレットを英語で作ろう。」という課題などは、タブレットの使用が有効であった。
- ◆「書くこと」の指導について、意見が分かれている。中学校の英語との関連の中で、もう少し書くことに力を入れても良いという考えと小学校ではやはり話したり聞いたりすることに力を入れるべきであるという考えの二つがある。
- ◆授業における「場面設定」の工夫が重要である。なぜ英語を使うのか？なぜ英語が必要なのか？という動機付けや必然性が学習者の意欲向上には必要不可欠である。児童が英語を学習したいと思えるような教材開発や場面設定の工夫をしていく必要がある。
- ◆単元の最終ゴール(単元末の言語活動)につながる単元構成のあり方やSmall Talk, Activity等のあり方をさらに検討していく必要がある。単元末のゴール(子どもに付けさせたい力、姿)から逆算して計画を練ることが大切である。
- ◆教材や指導案等のデータベース化。これまでに作成された資料を誰でも利用できるように、整理・蓄積していくことが大切である。

第5学年 外国語科学習指導案

指導者：HRT 山本 千草
ALT 木戸 Rosita

1 単元名 Where is your treasure? ～宝物への道案内をしよう～ (Junior Sunshine Lesson5)

2 単元目標

- ・建物や物がある場所、道案内の言い方を理解することができる。また、単語を書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・宝物への道案内をすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・他者に配慮しながら、宝物への道案内をしようとしている。(学びに向かう力・人間性等)

3 言語材料

- ・ I want to go library [park / bank / police station / department store / hospital / supermarket / post office / gas station / bookstore / fire station / pet shop / sports shop / flower shop / convenience store / restaurant / school / station].
- ・ Where is your treasure? Go straight. Turn right [left]. You can see it on your right [left]. It's on [in / under / by] the desk.
- ・ Is it a ball[pencil / watch / bat / glove / cap / pen / book / ruler]? My treasure is ～.

【既出】色(red, purple, black, white, blue, yellow, green) 3・4年

動物 (dog, cat) 方向 (right, left)

4 領域別目標と学習指導要領との関連

聞くこと	道案内や行きたい場所についての話を聞いて、理解することができる。	イ
読むこと	道案内に必要な表現を推測しながら読んだり、身近な単語のはじめの音を聞き分けたりすることができる。	イ
話すこと (やり取り)	宝物や大切にしたいものの場所について、伝え合うことができる。	ウ
話すこと (発表)	宝物のある場所を案内し、自分の宝物について発表することができる。	イ
書くこと	例を参考にしながら、身近な単語を4線上に書き写すことができる。	ア

5 単元設定の理由

(1) 単元について

知らない町で道をたずねたり、知らない人に道を聞かれて答えたりする場合には、とても勇気が必要である。英語での道案内の学習では、実際に町に出て案内するという内容はなかなか難しく、お互いにわかりきっている場所や位置を案内する学習になりがちで、児童がドキドキすることもなく何となく時間が過ぎていく学習が多い。そこでこの単元では、道をたずねる側と答える側に、少しでもドキドキ・ワクワク感を味わえるように、宝探しの要素を取り入れる。そのため、外国語の言語活動に対して苦手意識があり抵抗のある児童も興味・関心をもって、意欲的に取り組むことができると思う。また、ドキドキ・ワクワク感を持ちながらも、とっさの判断や直感で相手に対応することも必要となり、児童の思考力・判断力・表現力を育成することができると思う。

文字ページでは、2種類の単語を正しく書き写す活動も行う。

①教師が「音読み」で発音する文字で始まる単語カードを選び、選んだカードを書き写す。

②教師が言う4つのカードをグループで取り、言われた順に並べたものを、その順で書き写す。

音と文字の関連についても引き続き2種類の活動で取り扱う。前回までは、単語のはじめの子音を聞いて、与えられた選択肢から選んでいたが、今回は1段階難易度を上げ、聞こえた音を（選択しなしで）書き取る活動を設定する。この単元で取り扱う単語は、bat mat catのように母音とそのあの子音のまとまり（ライム）がそろっているものを用い、ライムについて気付きを促す。

(2) 児童について・・・略

(3) 指導について

本単元は、英語を使って簡単な道案内の言い方を学習する。単元ゴールである「自分の宝物へ道案内すること」を子どもたちと意識しながら、授業を進めていきたい。

第1時では、いろいろな建物や施設の英語の言い方を学習する。

・・・中略・・・

第7時（本時）では、自分の宝物を教室のどこかに隠し、宝物のありかまで案内する。そして、その宝物について説明させる。宝探し感覚で、ドキドキ・ワクワク感を味わいながら、意欲的に取り組ませたい。とっさの判断や直感で相手に対応する必要もあり、児童の思考力・判断力・表現力も育成できると考える。

第8時では、巻末付録の絵カード8を使ってアルファベットの音に慣れる活動をする。カードの単語を丁寧に書き写せるように、4線上のボードで書くときのポイントを提示しながら説明する。

単元のはじめは、場所を訪ねたり、答えたりする会話を聞き取る活動やチャンツを行うことによって、聞いて理解できる力を身に付けさせる。最初はペアで会話することから始め、グループ内での会話、クラス全体での発表というようにスモールステップで行っていく。言語活動をする際には、コミュニケーション要素（Listen carefully, Clear Voice, Eye Contact, Smile, Gesture）や言語要素（Repeat, Reaction, Echoing, Question & Answer）を意識させ、良かったところや困ったところなどを共有しながら進めていく。（児童には Good Points と 5Rules で提示）

6 単元計画（全8時間） ◆=目標 【】=紙面にある活動 ○=紙面にはない活動 ◎=評価

時	目標と主な活動	評価の観点
1	<p>◆建物や施設の語句と道案内の内容を聞き取ることができる。</p> <p>1 <u>Greeting</u></p> <p>2 <u>Warming Up</u></p> <p>○Small Talk（○○先生の宝物紹介）</p> <p>3 <u>Today's Goal</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>建物や施設の語句と道案内の内容を聞きとろう。</p> </div> <p>4 <u>Activity</u></p> <p>【Let's Listen1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の会話を聞いて、どんな内容かを話し合う。 <p>【Let's Play1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図記号を見て、何を表しているか英語で言う。 <p>【Let's Chant1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物や施設の言い方に慣れ親しむ。 <p>【Let's Play2】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイモンゼブゲームで道案内の基本的な言い方に慣れる。 <p>【Let's Listen2】</p>	<p>道案内の会話を聞いて、どこへ案内しているか聞き取ることができる。<書き込み点検・振り返りシート</p> <p>点検>思・判・表 主</p> <p>聞くことイ</p>

	<p>・英語を聞いて、どこへ案内しているかを考える。</p> <p>5 <u>Reflection</u></p> <p>6 <u>Closing</u></p>	
	・・・・・・・・中略・・・・・・・・	
7 本 時	<p>1 <u>Greeting</u></p> <p>2 <u>Warming Up</u></p> <p>○Small Talk (担任の宝物紹介)</p> <p>○Games</p> <p>【Let's Chant2】</p> <p>・宝物のありかへの案内の仕方を思い起こす。</p> <p>【Let's Chant3】</p> <p>・置き場所の言い表し方を思い起こす。</p> <p>3 <u>Today's Goal</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>宝物のありかと宝物について説明しよう。</p> </div> <p>4 <u>Activity</u></p> <p>【Let's Try】</p> <p>・自分の宝物のありかと中身について発表する。</p> <p>5 <u>Reflection</u></p> <p>6 <u>Closing</u></p>	
	<p>◆単語を4線の上に書き写すことができる。また、はじめの子音を聞き取ることができる。</p>	<p>宝物のありかを道案内の方法で発表することができる。<行動観察・振り返りシート></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思・判・表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">主</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話すこと（発表）イ</div>

7 本時の学習

(1) 目標

宝物のありかと宝物について説明することができる。(思考力・判断力・表現力等)

(2) 準備物

教科書、音声 CD、デジタル教材、ワークシート、振り返りシート

(3) 展開 (7 / 8 時間)

時間	児童の活動	指導者の留意点/◎評価	
		HRT (T1)	ALT (T2)
3分	<p>1 <u>Greeting</u></p> <p>・初めの挨拶をする。</p> <p>・月日・曜日・天気を英語で確認する。</p>	<p>・英語で挨拶を行い、外国語の始まりの雰囲気をつくる。</p>	<p>・英語で挨拶を行い、外国語の始まりの雰囲気をつくる。</p>
10分	<p>2 <u>Warming Up</u></p> <p>Small Talk(担任の宝物紹介)</p>	<p>・HRTの宝物について写真を見せながら話をし、本時の課題につなげる。</p>	

	<p>This is my treasure. This is a ruby ring. My father gave this ring for my mother's birthday. But when I was twenty years old, my mother gave me this ring. Because my birthday is July. July birthstone is ruby. I was very happy. I like this ring very much.</p>	<p>Games</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイモンセズゲーム ・right left ゲーム など <p>【Let's Chant2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝物のありかへの案内の仕方を思い起こす。 <p>【Let's Chant3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置き場所の言い表し方を動作化して、思い起こす。 on、 in、 under、 by 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと道案内のときに使う英語の表現をゲームも交えながら確認する。 ・発音が難しい語句については、区切りながら繰り返し聞きかせ、言い方に慣れ親しませる。
1分	<p>3 Today's Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する。 	<p>宝物のありかと宝物について説明しよう。</p>	
7分	<p>4 Activity</p> <p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の宝物のありかと中身について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道案内のデモンストレーションをする（宝物のありかを説明する側）。 ・道案内のデモンストレーションをする（宝物を探す側）。 	<p>A:Hello. My name is Rosita. H:Hello. My name is Chigusa. A:Where is your treasure? H:Ok. Please find. Go straight. Go straight. Turn left. ... You can see it on your (right/left).It's on(in/under/by)～. 見つけられたら That's right! Please open. A:What? H:My treasure is a ruby ring. A:Oh,good! Why? H:Because my mother gave this present. So this ring is very important to me. A:Nice! Thank you.</p> <p>ペア活動 1 回目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の宝物の場所と宝物についてわかったことを教科書の表に書く。 <p>HRT と ALT は、机間指導をし、適宜声掛けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の宝物は、授業前に教室、理科室、5年生教室前廊下のどこかに準備しておく。 ・Good Points や 5rules も意識して会話させる。

5分			
	<p>Sharing Time</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言いたかったが言えなかったことを共有する。 ・友達の良かったところを発表し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や良かったところを伝える。 ・言いたいことが英語で言えるように支援する。 <p>〈児童の質問予想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し・・・ a little もっと・・・ more 戻って・・・ go back 行き過ぎ・・・ go too far 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や良かったところを伝える。
7分	<p>ペア活動2回目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの宝物の場所と宝物についてわかったことを教科書の表に書く。 	<p>HRTとALTは、机間指導をし、適宜声掛けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の活動より改善しているかチェックする。 <p>◎宝物のありかと宝物について説明できている。〈行動観察〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数名指名し、みんなの前で発表させる。 	
3分	<p>発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の良かったところを発表し、共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の活動より改善しているかチェックする。 ・良かったところを伝える。
5分	<p>5 Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに本時の振り返りを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを配布。 ・宝物のありかと宝物について説明するために、どのようなどころに気を付けたり、工夫をしたりしたか振り返りをさせる。 ・児童の頑張りを称賛する。 <p>◎宝物のありかと宝物について説明できている。〈振り返りシート点検〉</p>	
1分	<p>6 Closing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと挨拶をする。

(4) 板書計画

Lesson5 Where is your treasure? Friday, November 6th, Sunny

Today's Goal
宝物のありかと宝物について説明しよう。

Today's Class
Greeting
Warming Up
Today's Goal ← ※矢印で今の流れを示す。
Activity
Reflection
Closing

go straight ↑
turn right →
turn left ←
stop (stop sign icon)

5Rules

Good Points

【資料2】到達目標と評価基準（評価基準は省略）

2020	年度						
教科	学年	教科書	上F 教科書ページ	配当時数	配当月		
外国語	5	開隆	38 ~ 46	8	10 ~ 10		

大単元(題材名)	宝物への道案内をしよう。		
中単元(曲名)	Lesson5 Where is your treasure??		
主領域/領域/内容の区分	聞くこと/読むこと/話すこと [やり取り] /話すこと [発表] /書くこと		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度/国際理解, 国際親善		

【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 道案内の言い方を聞き、理解することができる。 <input type="checkbox"/> 行きたい場所について、I want to go to ~. の言い方を聞き、理解することができる。 <input type="checkbox"/> 道案内を A: Where is ~? B: Go straight. Turn right [left]. You can see it on your left [right]. の表現を使って、たずねたり答えたりすることができる。 <input type="checkbox"/> ものの位置を A: Where is ~? B: It's in [on / under / by] ~. の表現を使って、たずねたり答えたりすることができる。 <input type="checkbox"/> ものがある場所への道案内をする Go straight.? Turn right [left].? You can see it on your left [right]. It's in [on / under / by] ~. の表現の意味がわかる。 <input type="checkbox"/> 聞こえたアルファベットの音で始まるカードを選び、単語を書き写すことができる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 宝箱に入れる宝物と場所を決めて、Go straight.? Turn right [left].? You can see it on your left [right]. It's in [on / under / by] ~. の表現を使って、道案内をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 地図を見せながら、場所や位置がよくわかるように、友達に宝物への道案内をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

大宮小学校 CAN-DO リスト

学年	聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと
			【やり取り】	【発表】	
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活に関する身近な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。 ● 思い出や将来について、まとまりのある話の概要を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を識別し、その読み方を発音することができる。 ● 思い出や将来について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。 ● 活字体で書かれた大文字・小文字を識別し、その読み方を発音することができる。 ● 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、思い出や将来の夢など、身近な事柄や自分のことについて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、一日の生活や学校生活など、身近で簡単な事柄や自分のことについて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 思い出や将来の夢について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。 ● 大文字・小文字を活字体で書くことができる。 ● 自分の名前やできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを、伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを、伝え合うことができる。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットの大きな文字と小さな文字を正しく発音することができる。 ● 色や文房具など、生活でよく使う単語を発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットを見ながら自分で書くことができる。 ● 日常使われている日本語をローマ字で書くことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットの大きな文字と小さな文字を正しく発音することができる。 ● 色や文房具など、生活でよく使う単語を発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットをなぞり書きすることができる。 ● 日常使われている簡単な日本語をローマ字で書くことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットの大きな文字と小さな文字を正しく発音することができる。 ● スポーツや食べ物など、生活でよく使う単語を発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットをなぞり書きすることができる。 ● 日常使われている簡単な日本語をローマ字で書くことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な単語を聞いて、日本語と英語との共通点や相違点に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットの大きな文字と小さな文字を正しく発音することができる。 ● アルファベットの大きな文字と小さな文字を正しく発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットに触れる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な単語を聞いて、日本語と英語との共通点や相違点に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な語句や文を聞き取ることに慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベットに触れる。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な語句や文を聞き取ることに慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 	

Classroom English at Omiya Elementary School

はじめの挨拶

Let's start English class.(英語の授業を始めよう)

Good morning, everyone.(おはよう、みなさん!)

How are you?(元気ですか?)

What day is it today?(今日は何曜日?)

What's the date today?(何日?)

How's the weather today?(天気はどう?)

Are you ready?(準備はいい?)Yes!(はい)/Not yet.(まだ)



おわりの挨拶

Let's finish English class.(英語の授業を終えよう)

That's all for today.(今日はここまで)

Good job, everyone.(みなさんよくできました)

Goodbye, everyone.(さようなら、みなさん)

See you next time.(また、会いましょう)



ほめる

That's right!(正解) All right.(その通り)

Good! / Nice! / Great! / Excellent! / Fantastic!

/ Amazing! / Perfect! / Wonderful! (いいね)

Nice try!/Good try!/Good job!/Well done!(よく頑張った)

Let's give OO a big hand.(OOに大きな拍手を)



励ます

Don't give up.(あきらめないで) Close!(おいしい!)

You can do it!(君ならできる!) Take it easy.(落ち着こう)



ゲーム

Open your eyes./Close your eyes.(目を開けて・閉じて)

Who's next?(次はだれ?) It's your turn.(あなたの番)

Put your eraser between you and your partner.

(消しゴムを間に置いて) Time is up.(時間切れ)



指示

Here we go. /Go ahead. (さあ、やってみよう!)

Take out your textbook.(教科書を出して)

Open your textbook to page 5.(5ページを開けて)

Make pairs.(ペアになって) Make a circle.(円になって)

Face each other.(向かい合って) Please line up.(並んで)

Change your roles.(役割を交代して)

Make groups of three.(3人組を作って)

Make around and find a partner.(歩いて相手を見つけて)

Go back to your seat.(席に戻って)

Raise your hand.(手を挙げて)

Put your hand down.(手を下ろして) Here you are.(どうぞ)

Collect the papers from the back.(後ろから集めて)

Clear your desk.(机の上を片付けて)



注意

Be quiet.(静かに) Listen carefully.(よく聞いて)

Look here.(ここを見て) Look at me.(私を見て)

Put your pencils down.(鉛筆を置いて)

In English, please.(英語で) Speak up.(もっと大きな声で)

One more time.(もう一度) Stop it.(やめて)



問いかけ

Who knows the answer??(わかった人?)

Any volunteers??(やってくれる人?)

Any questions??(質問はある?)

Are you finished??(終わった?)

? Yes.(はい) / One more minute.(もう少し待って)

Are you OK?(大丈夫?) What's this?(これは何?)

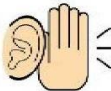




What did you hear??(何が聞こえた?)



【資料5】 振り返りシート






外国語活動 振り返りシート

年 番 名前

月 日 ()				
学習のめあて【 _____ 】				
★授業をふりかえって、がんばったところに○をしよう。				
英語の勉強は楽しかったですか？				
話し手の英語を聞いて、話していることが分かりましたか？				
習った英語をつかいましたか？				
Listen carefully 	Clear Voice 	Eye contact 	Smile 	Gesture 
感想（わかったことやもっと知りたいと思ったことなど）				

外国語科 振り返りシート

年 番 名前

月 日 ()				
学習のめあて【 _____ 】				
★授業をふりかえって、がんばったところに○をしよう。				
英語の勉強は楽しかったですか？				
話し手の英語を聞いて、話していることが分かりましたか？				
習った英語をつかいましたか？				
Listen carefully 	Repeat 	Reaction 	Echoing 	Question & Answer 
感想（わかったことやもっと知りたいと思ったことなど）				

【資料6】 パフォーマンステスト

6年 1学期 パフォーマンス・テスト

☆ALT が質問する。

1. How are you?
2. What day is it today? or what's the date today? How's the weather today?
3. What time do you~(get up,go to school,do my home work)?
4. Where do you want to go? Why? Thank you.
5. Do you have any questions?(児童から ALT に質問)

☆担任は評価をする。(A/B/C で評価 積極性では、粘り強く、英語を使用しようとしているかも評価)

名前	発 音 声 の 大 き さ	目 線	積 極 性	Memo
1 ○○ ○○				
2 ○○ ○○				
3 ○○ ○○				

5年 2学期 パフォーマンス・テスト

☆ALT が質問する。それぞれの質問の中で、児童から質問があれば、答える。会話を楽しむ。

1. How are you?
2. My name is ~.What's your name?
3. My Birthday is ~.When is your Birthday?
4. I like ~.What sport do you like?
5. Can you ~?
- 6.What is your treasure? Why?
- 7.Who is your hero?

Do you have any questions?(児童から ALT に質問)

☆担任は評価をする。(A/B/C で評価 積極性では、粘り強く、英語を使用しようとしているかも評価)